Japan-Expertプログラム（アグロノミスト養成コース）入学後の学生における標準履修モデル

入学 ⇒

			1年			2年			3年			4年			
			10月～3月		4月～9月	10月～3月		4月～9月	10月～3月		4月～9月	10月～3月		4月～9月	
基礎科目	共通科目	総合科目	Japan-Expertフレッシュマン・セミナー	1	フレッシュマンセミナー 総合科目Ⅰ 総合科目Ⅱ		7				総合科目Ⅲ		1		
		第1外国語（日本語）	日本語	15											
		第2外国語（英語）	（英語）		英語		4.5	英語（専門英語基礎演習）		1					
		体育	体育	1	体育		1	体育		1					
		情報			情報		2								
	関連科目	日本文化関連科目、等			Japan-Expert共通科目、自由科目、等		6.5以上	自由科目		3程度					
専門基礎					Japan-Expert総論、生物資源科学入門,生物資源現代の課題、生物資源科学演習、生物資源科学実習 生物学Ⅰ～Ⅲ 地球学概論Ⅰ～Ⅲ 化学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、基礎数学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会科学基礎Ⅰ・Ⅱ、 統計学入門、生物資源フィールド学実習、生物学実験、化学実験、物理学実験、地球学実験、数理科学演習、等		7+14以上								
専門科目								植物生理学、生態学、植物遺伝学、有機化学、生化学、分子生物学、実用解析Ⅰ、流れの科学Ⅰ、熱・物質移動の科学Ⅰ、土の物理学Ⅰ、生物資源経済学、森林資源経済学、農村社会学、作物生産利用学、園芸学、資源植物保護学、資源動物学、環境化学、生物資源生産科学実習、等（※1）	21＋10程度	作物生産学、作物生産システム学、植物育種学、蔬菜生産学、果樹生産利用学、植物病理学、応用動物昆虫学、動物生産学、森林育成学、生物統計学、森林植物学、土壌科学、植物栄養学、植物環境感応学、環境保全科学、生物機械工学、農村・農地工学、資源開発経済学、アグリビジネス論、国際技術交流論、農林業政策論、食料経済分析論、科学技術倫理、生物生産システム学実習、生物機械工学実習、等（※2）	16＋15程度		
								専門語学Ⅰ	2	専門語学Ⅱ、Japan-Expertアグロノミストインターンシップ、卒業研究					10
単位数			17程度		42程度			38程度			36程度			6程度	139
自主学習			初年次教育の日本語学習に加え、卒業時まで「CEGLOC日本語教育プログラム」を履修 ⇒就業力のある日本語能力の獲得のため4年間継続して学習												

⇒ 卒業 ⇒

就職先

農業分野での研究者・技術者、国内外での就農・農業指導者、JICA、国際連合食糧農業機関（FAO）等の国際機関で活躍

※1： 学類長が指定する専門科目Ⅰ科目群より選択する
※2： 学類長が指定する専門科目Ⅱ科目群より選択する
※3： 具体的には、履修細則別表に基づき履修する